

支えあいが育む・地域の和

ふれあい馬宮

2017年 1月号
(通巻 第44号)

発行者 会長 岡田 悟
馬宮地区社会福祉協議会
所在地 さいたま市西区
西遊馬533-1

TEL&FAX 048-626-2766

ホームページアドレス

<http://mamiya-shakyo.com>

第6回絆コンサート・インまみや



特 集

3年に1度の改選

あなたの地域（まち）の

民生委員・児童委員

「謹賀新年」 今年もよろしくお願い申し上げます

馬宮地区社会福祉協議会

会長

岡田 悟



日本は人生90年といわれる時代を迎えます。これからほんの13年先の2030年には、高齢者が人口の三分の一となります。そのうちでも急速に増加しているのが、後期高齢者と呼ばれる75歳以上の人口で、全人口の二割を占めることになり、世界のどの国も経験したことの

ない超高齢化社会が到来します。そのような中、四割の高齢者がひとり暮らしをしていると予測されています。

また、労働力の減少に伴い、財政や人手不足も深刻な超高齢社会を見ますと、隣人同士の少しの気配りと手助けで、地域で安心して暮らせる高齢者は多くいます。誰かがしてくれるのを待つのではなく、自分にできる事を考え居場所、役割のある地域作りを皆さんと一緒に実行しましょう。

馬宮地区民生・児童委員協議会

会長

清水 幹雄



あけまして
おめでとうござ

ざいます。

昨年は12月より馬宮地区の会長職を務めることになりました。委員になって二期目、まだ頼りないところがあると思いますがよろしくお願い致します。

日頃は、社協「見守り推進委員会」等を通じ、自治会福祉委

員を中心に見守り活動を検討・実施して頂き、ありがとうございます。

老人会でも、友愛活動を通じての見守り強化を検討しております。

色々な活動を通じて各部門が連携し、要援護者の早期発見、ちよつとした事は助け合い、専門知識・技能が必要なことは民生・児童委員、包括支援センターを通じて専門職につなぎ、困りごとが放置されない住み良い地域を作り上げて行きましょう。

あなたのそばに身近な相談役

民生・児童委員がいます

民生・児童委員が創設されて平成29年で100周年を迎えます。

♥住民の一員として住民の立場にたつて、まちの福祉を担うボランティアです。

♥支援や見守りが必要な人を把握するための訪問活動をしています。

♥心配ごとや悩みごとなど地域に暮らす身近な相談相手として、住民の相談に応じています。

♥相談の内容に応じて、解決できるよう行政機関をはじめ、必要な支援への「つなぎ役」です。

♥自治会、市や地区の社会福祉協

議会と福祉の推進事業等に協力しています。

♥具体的には高齢者宅を訪問し、状況を把握する。体調を崩していないか、福祉サービスを利用できているか、生活に困っていないか。

♥さまざまな情報提供、注意喚起も訪問時にしています。詐欺・消費者被害・熱中症予防・防火や防犯・防災・交通事故防止等々。

♥健康につながる色々なアドバイス・運動・コミュニケーションの場への参加の働きかけ。

♥民生委員は児童委員も兼ねています。子育て世帯の支援や登下校時の声かけ、虐待の早期発見、いじめや不登校などで学校、行政と連携、協議を行っています。

♥主任児童委員は地区内における児童福祉に関する事項のみに対応し、児童福祉関係機関、学校、民生・児童委員との連絡調整の職務をおこなっています。

♥個人情報に触れる機会も多く、守秘義務が課せられています。3年ごとに改選され再任も可能です。

♥住民がお互い助け合い、笑顔で安心して暮らせる街の一助になればと、日々活動しています。



恒例の絆コンサート開催

赤ちゃんを抱いたお母さん、地元中学吹奏楽部の先生と生徒、車椅子に乗った介護施設の皆さん等通常あまり見られない、幅広い層の方々に溢れた馬宮コミセン。12月3日(土)絆コンサートは、あたたかい雰囲気にも包まれた演奏会となりました。

3・11大震災で絆の大切さを学んだ私達。同じ馬宮に暮らす仲間同士一緒に楽しい時間を過ごし絆を深めようと始まったコンサートは200名を超える観客と共に6回目を迎える事ができました。一部は南古谷の「東邦音楽大学サックスカルテット」による演奏で、グレンミラーメドレーその他の楽曲を披露して頂きました。二部はお馴染み馬宮在住メンバー「マリンバ・プロムナーズ絆クインテット」

の登場で最高潮に達しました。最後は会場が一つになつて大合唱：演奏者に花束を贈呈しました。



社会福祉大会

おめでとうございます

地域福祉の功績者を表彰する大会が開催され、当地区社協前会長の矢部恒男氏が全受賞者を代表し挨拶を述べました。



社協役員

特別功績者

(会長5年以上)

矢部恒男

市長表彰

(18年以上)

黒岩清

会長表彰

(10年以上)

下田又夫

ボランティア

市長表彰

(15年以上)

中西伊久子

会長表彰

(10年以上)

小川美枝子

谷川三智代

内山静子

敬称略

平成28年度募金実績

〈各種募金〉

日赤 ￥ 609,200
赤い羽根 ￥1,059,450
歳末たすけあい ￥ 958,482

〈会費〉

社協賛助会費 ￥ 944,700
～ ありがとうございました～
地域福祉のために
大切にに使わせて頂きます

お知らせ

「馬宮まごころ基金補助金交付」受付ます

サロンや世代間交流等の活動に対し補助金の交付をします

弥生ふれあい会(3月14日)参加者募集中
75歳以上の方(定員50名)を無料で
昼食会へご招待します

※いずれの問い合わせも

馬宮地区社会福祉協議会まで

TEL 626-2766 (月～金曜の午後)

ご存知?

緊急時安心キット
を配布しています

かかりつけの医療機関や緊急時の連絡先などの情報を専用の容器に入れ、各家庭の冷蔵庫に保管しておくものです。

病気やケガなどで、救急隊が駆けつけた時に、傷病者の正確な情報を素早く把握し、迅速な救急搬送につなげることが出来ます。

次の方に無料で配布(一世帯につき一セット)しています。

〈対象〉▼65歳以上 ▼障害がある方 ▼難病・持病(心臓病・脳梗塞・ぜん息・糖尿病など)

〈配布場所〉・各区高齢介護課・

もの忘れ検診を

受診しましょう

支援課・保健センター・各消防署・出張所(窓口で申請書に記入していただきます。)

●もの忘れ検診とは：認知症を早期に発見するための簡易的な検査です。検診で認知機能の低下が疑われた方に専門医療機関での精密検査をご案内します。

〈対象者〉：市内居住の方・H28年4月1日～H29年3月31日に65・75・80歳のいずれかの年齢になる方。〈費用〉：無料(検診を受ける場所)：市指定の医療機関

●詳しくは、いきいき長寿推進課(TEL 829・1286)

編集後記

■高齢者の定義を変えたいと言う。

数十年前の60才70才と現在では確かに違うとの話はよく聞く。社会の進化が与えてくれた恩恵のおかげでまだまだ進むであろう。私達はありがたく享受し、できればあまり医療にたよらず、健康で長生きしたいものだ。我々社協はそのお手伝いをします。